

3636 欧州 18カ国の旅：修道院（城門）までの夢想

モンサンミッシェルは一度訪ねている。観光写真のような画像も記録している。

今一度、ぜひ訪ねたかった。というのも、独りよがりの訳がある。

訪ねたのは12月中旬。新月と満月の中間。中途半端だが現場の状況を体感してみたかった。

話があちこち、ご容赦。単なる画像からだけでは、わかり難いと思った次第。

車を駐車場に。城門へはバスか、歩きしかない。お天気は良くないが、歩きでアクセス。

好きだからこそ出来る事。この体感。思い出深いひとときになった。



遠目、夜目、遠望だから、想像が働き、夢とロマンがあるように思える。

裏は見たくなかった中高年。感動するものが少なくなってくる。原因は、自分側なのか。

初見だから、ワクワクして面白いのかもしれない。そこで創意工夫した次第。

モンサンミッシェル、カトリックの巡礼地の一つ。説明によれば、フランス西海岸、サン・マロ湾上に浮かぶ小島、及びその上にそびえる修道院であると。

潮の干満が最も激しい所で、満ち引きの差が15メートル以上。

満潮が押し寄せるのは、満月と新月。潮の干満時刻には、浜におりないこと。
引き潮で、18キロまで引いた潮が、猛烈な速度で、押し寄せ、巡礼者が命を落としたとある。
モンサンミッシェルに行くなら、遺書を書いてから行け！という言い伝え。

また脱線。2018年度版、新月・満月、中央標準時では、満月が13回、新月が12回。

2018年12月、新月は、7日（金）16：20。満月12月23日（日）02：49。
研究されている人がおられる。敬意を表したい。旅の途上のお月さまの目撃は、格別なもの。

話を元に戻して、こんなことをしているから、時間がどんどん過ぎて行ってしまう。

寒さもなんのその。城門にたどり着くまで楽しんだ。

自然は想定外のいたづらをする。それも面白く、興味が尽きない。

